

令和3年（2021年）の硫黄鳥島の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○ 噴火警報・予報の状況、2021年の発表履歴

2021年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）
------------	-------------------

○ 2021年の活動概況

・ 噴気等表面現象の状況（図1～図4）

7月27日に実施した、気象庁の海洋気象観測船「啓風丸」による海上からの観測では、グスク火山火口周辺及び硫黄岳火口で、前回の観測（2020年11月）に引き続き白色の噴気が確認されました。また、風下側で硫化水素臭が感じられました。



図1 硫黄鳥島 噴気位置と各図の撮影方向

この資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

この資料は第十一管区海上保安本部のデータを利用して作成しています。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図2 硫黄鳥島 硫黄鳥島の東側の撮影（7月27日）



図3 硫黄鳥島 グスク火山火口の状況（7月27日）
・引き続き白色の噴気（橙点線丸内）が確認されました。



図4 硫黄鳥島 硫黄岳火口の状況（7月27日）
・引き続き白色の噴気（橙点線丸内）が確認されました。